

平成 27 年 3 月 19 日 発表

# 弘前大学 学部改組の構想案

(平成 28 年 4 月予定)



※掲載内容は予定であり、変更する場合がありますので、今後発表する大学ホームページでご確認ください。

# 改組の理念

## 社会的背景・課題

少子高齢化

グローバル化の進展

ICTの革新

人口減少の進行

イノベーション創出の必要性

文理融合型人材の育成

## 「青森県基本計画」の政策体系

- 産業・雇用分野：仕事づくりと所得の向上
- 安全・安心、健康分野：命と暮らしを守る
- 環境分野：自然との共生、低炭素・循環による持続可能な地域社会の形成
- 教育、人づくり分野：生活創造社会の礎

## 弘前大学における改革の理念

教員養成の質的充実

理工学系・農学系人材の育成強化

教育のグローバル化

地域活性化の中核的拠点の形成

# 学部・学科（課程）の改組構想

現行

【学部定員】1,382人

改組後(平成28年4月～) 【学部定員】1,322人(△60)

## 人文学部 (345人)

人間文化課程 (115)	文化財論コース アジア文化コース	思想文化コース 欧米文化コース
現代社会課程 (110)	国際社会コース 法学コース	社会行動コース
経済経営課程 (120)	経済学コース 産業情報コース	経営学コース

## 教育学部 (240人)

学校教育教員養成課程 (145)	学校教育専攻 教科教育専攻 特別支援教育専攻	
養護教諭養成課程 (25)		
生涯教育課程 (70)	健康生活専攻 地域生活専攻	芸術文化専攻

## 医学部 (312人)

医学科 (112)
保健学科 (200)

## 理工学部 (300人)

数理科学科 (40)
物理科学科 (40)
物質創成化学科 (46)
地球環境学科 (58)
電子情報工学科 (58)
知能機械工学科 (58)

## 農学生命 科学部 (185人)

生物学科 (40)	基礎生物学コース 生態環境コース
分子生命科学科 (40)	生命科学コース 応用生命コース
生物資源学科 (35)	食料開発コース 生産環境コース
園芸農学科 (40)	園芸農学コース 食農経済コース
地域環境工学科 (30)	農山村環境コース 農業土木コース

## 人文社会 科学部 (265人) △80

文化創生課程 (110)	文化資源学コース 多文化共生コース
社会経営課程 (155)	経済法律コース 企業戦略コース 地域行動コース

## 教育学部 (170人) △70

学校教育教員養成課程 (150)	初等・中等教育専攻 特別支援教育専攻
養護教諭養成課程 (20)	

## 医学部 (312人)

医学科 (112)
保健学科 (200)

※変更なし

## 理工学部 (360人) +60

数物科学科 (78)	数理科学コース 物質宇宙物理学コース 応用計算科学コース
物質創成化学科 (52)	
地球環境防災学科 (65)	
電子情報工学科 (55)	
機械科学科 (80)	知能システムコース 医用システムコース
自然エネルギー学科 (30)	

## 農学生命 科学部 (215人) +30

生物学科 (40)	基礎生物学コース 生態環境コース
分子生命科学科 (40)	生命科学コース 応用生命コース
食料資源学科 (55)	食料バイオテクノロジーコース 食品科学コース 食料生産環境コース
国際園芸農学科 (50)	園芸農学コース 食農経済コース
地域環境工学科 (30)	農山村環境コース 農業土木コース

※カッコ内の数字は、入学定員を表す。

なお、改組後の入学定員は予定であり、変更の可能性あり。

# 人文社会科学部の構想

人文科学と社会科学の両分野にわたる学問領域を基礎とし、  
多元的な文化理解と現実の課題解決を重視した2課程編成へ

## 文化創生課程

文化資源学コース

多文化共生コース

多元的な文化理解に立った多様性認識のもとで、地域の文化を含む自国の文化を創造し、発信する力を持った人材の育成

## 社会経営課程

経済法律コース

企業戦略コース

地域行動コース

地域課題を含む現実の課題の解決に重点をおいた実践型教育に基づき、地域社会の活性化に寄与する人材の育成

## 学部の特徴

- 地域社会のグローバル化にも対応しうる人材を育成するため、英語を中心とする外国語授業科目を充実  
・言語コミュニケーション実習 英語・多言語(多文化共生コース・必修)
- 学生の学びの主体性の確立  
・反転型, 討論形式, 課題解決型, フィールドワーク型等の多様な授業方法を取り入れた実習形式・演習形式の授業科目を多数開設
- 青森県の政策課題への対応も視野に入れたカリキュラム設計  
・自治体政策研究(経済法律コース)をはじめ, 地域の政策課題を含む現実の課題の解決に寄与しうる人材育成のための授業科目を配置
- 教育カリキュラムの運営面における地域社会との連携強化  
・自治体関係者や地元の企業家等をゲストスピーカーとして交えた教育プログラムを展開

## 教育学部の機能を実践型教育養成へと質的変換し、 小学校教員養成の質的向上を図る

### 学校教育教員養成課程

#### 初等・中等教育専攻

#### 特別支援教育専攻

高い専門性と様々な教育課題に対応できる実践的指導能力を兼ね備えた学校教員の養成

特別支援学校の教員や通級指導などで専門的な指導ができる学校教員の養成

### 養護教諭養成課程

高い専門性と経験を兼ね備え、子どもの心と体の健康問題を解決し、生涯にわたって健康に生きる力を育むことができる養護教諭の育成

### 学部の特徴

- **地域の課題に応えるための「地域課題探求型科目」の導入**
  - ・健康教育, 環境教育, 特別支援教育を必修科目として配置
  - ・総合大学の強みを生かした学部連携(オール弘前大学)による教育体制の構築
- **地域連携や国際化に対応する教育実習の充実による「地域協働型教員養成プログラム」の導入**
  - ・従来の教育実習に加え, 地域の学校や教育委員会を介した教育活動を積極的に導入し, 実践的指導力の育成
  - ・連携大学への海外短期留学プログラム制度の拡充
  - ・地域の外国人学校との交流授業の充実
- **小学校教員養成機能を強化する教育体制の構築**
  - ・実務家教員と研究者教員との教育体制の構築
  - ・中学校コースと連携した小中一貫教育対応のための履修プログラムの整備
- **インクルーシブ教育の拡充**
  - ・専門分野の教員を増員し, 必修科目としての開講
  - ・弘前市教育委員会主催の適応指導教室に, 支援員として学生の派遣
- **教職キャリア支援の充実**
  - ・現役学生及び卒業生を対象とした教職支援室における恒常的サポート体制の強化

# 理工学部 of 構想

「安全・安心な持続可能な社会の構築」と「グローバル社会に向けた理工系人材の養成」に重点を置いた学科構成へ

## 数物科学科

数理科学コース

物質宇宙物理学コース

応用計算科学コース

数学と物理の基礎領域を基に、現代の諸問題を解決する数理的な手法、イノベーションの核となりうる柔軟な応用力、社会現象を処理する計算科学的能力を有する人材の養成

## 地球環境防災学科

地域を取り巻く自然環境と社会環境を良く知り、自然災害の発生メカニズムを理解し、防災の知見を有する人材の養成

## 機械科学科

知能システムコース

医用システムコース

理学系基礎を身につけ、さらに機械工学の基礎に立脚して、これまでの機械工学の枠を超えた学際的な幅広い産業分野に対応できる人材の養成

## 物質創成化学科

化学に関する基礎学力及び材料合成化学分野の知識を身につけ、地球温暖化問題、代替エネルギー問題等に対応しうる人材の養成

## 電子情報工学科

電子工学と情報工学の融合による組込み系を柱として、社会のニーズに応える人材の養成

## 自然エネルギー学科

グローバルな視点からエネルギー問題を総合的視点で捉え、次世代エネルギー分野へと展開できる人材の育成

## 学部の特色

- **基礎分野を強化し、より広い応用分野へ視野を広げるカリキュラムの編成**
  - ・コア基礎科目群(全学科・必修)を設置し、確固とした科学の基礎の学修
- **経済経営を俯瞰できる人材育成のための実地的カリキュラムの編成**
  - ・マネジメント科目群を設置し、経済・経営の科目を学部共通科目として導入
- **グローバル化に対応した総合的な英語力・相互理解力の強化**
  - ・グローバル科目群を設置し、英語教材を用いた科目の開講
- **これまでの「地球環境学」に加え、新たに「防災学」へと展開する体系的教育体制の構築(地球環境防災学科)**
- **新産業分野として創出が加速される医用システム産業に対応した、機械工学を基礎とする医用工学系科目の配置(機械科学科 医用システムコース)**
- **自然エネルギーの全体を俯瞰できる人材育成のため、理工系の基礎科目に、エネルギー関連科目を配置し、さらに社会系科目の配置(自然エネルギー学科)**

# 農学生命科学部の構想

「食」と「国際化」をキーワードとし、社会的要請に対応した教育体制の強化

## 食料資源学科

食料バイオテクノロジーコース

食品科学コース

食料生産環境コース

食料資源の生産基盤を支え、安定的・持続的な食料生産に貢献でき、国内外に向けた付加価値の高い食品を開発する能力を有する人材の養成

## 国際園芸農学科

園芸農学コース

食農経済コース

世界で行われている農業生産領域や食と農業をめぐる課題を多面的・総合的・実学的に把握できる人材の養成

## 学部の特徴

### ●専門基礎科目の強化

- ・食産業におけるイノベーションの創出や国際化を目指した学部共通科目と各学科の専門基礎を主体とするコア科目(必修科目)を導入
- ・高学年に開講されていた実験・実習・演習・卒業研究などを低学年にも導入し、学生が自ら課題に取り組む科目を軸としたカリキュラムの編成

### ●「食」と「国際化」に関する教育の推進

- ・地域の経済基盤を構成する農林水産業の強化のため、「国際農業論」の開講(全学科・必修)
- ・農業の国際化に対応するため、「海外研修入門」の開講(国際園芸農学科・必修)
- ・イノベーションを創出する人材、6次産業化を推進する人材の養成を目的とした「起業ビジネス論」の開講(全学科・必修)
- ・地(知)の拠点整備事業の一環として、地域志向科目の拡充
- ・英語教材(e-learning)を用いた教育の充実

## 生物学科

基礎生物学コース

生態環境コース

北日本沿岸の水産資源の増殖や、山-川-海をつなぐ自然環境の保全についてリードできる人材の養成

## 分子生命科学科

生命科学コース

応用生命コース

生物の潜在能力を掘り起こすことによって社会に付加価値を与えられる人材の養成

## 地域環境工学科

農業土木コース

農山村環境コース

日本の高度な農業土木技術を世界の現場で活用できる人材の養成